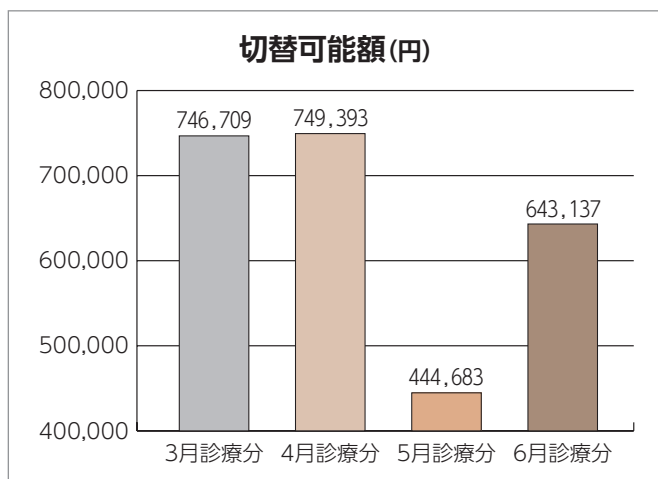
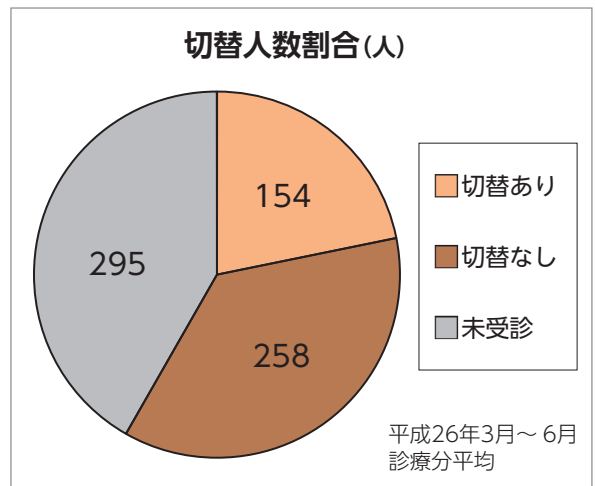


ジェネリック医薬品を活用しましょう!

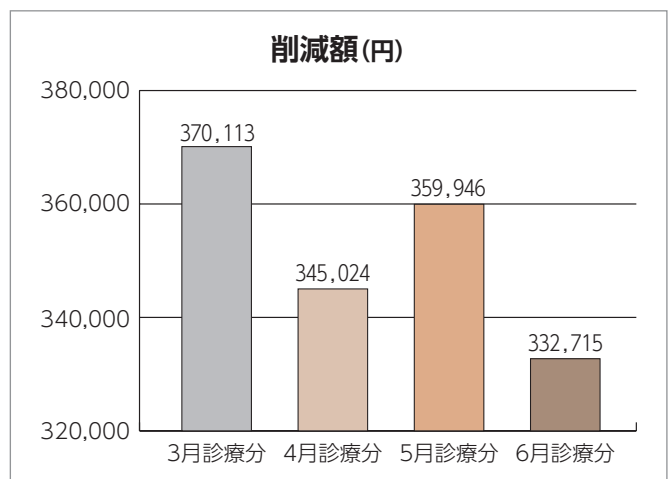
共済組合では「ジェネリック差額通知書」(ジェネリック医薬品に切替えることで、500円以上の削減効果が見込まれる20歳以上の慢性疾患により投薬を受けている組合員及び被扶養者の方が対象)を配付し、ジェネリック医薬品の利用促進を行っております。

本年2月に707人の方に対し「ジェネリック差額通知書」を配付しました。その結果、少しずつではありますが、削減効果があらわれました。(各グラフ参照)

しかし、ジェネリック医薬品の利用率は3月診療分から6月診療分の平均で約12.24%と依然として低い状態となっています。皆さんの自己負担額の軽減、また本組合の短期(医療)財政の改善のため、ジェネリック医薬品を活用しましょう!



切替可能額…先発医薬品の中で、ジェネリック医薬品に切替が可能な薬剤費



削減額…先発医薬品からジェネリック医薬品に切替えた結果、削減された薬剤費

	3月診療分	4月診療分	5月診療分	6月診療分
ジェネリック医薬品利用率	12.67%	12.14%	10.96%	13.20%
削減率	5.68%	6.38%	6.32%	6.75%
切替可能率	44.51%	43.59%	41.63%	41.13%

ジェネリック医薬品利用率…医薬品全体の中でジェネリック医薬品が占める割合

削減率…先発医薬品からジェネリック医薬品に切替えた結果、削減した割合

切替可能率…先発医薬品の中で、ジェネリック医薬品に切替が可能な割合

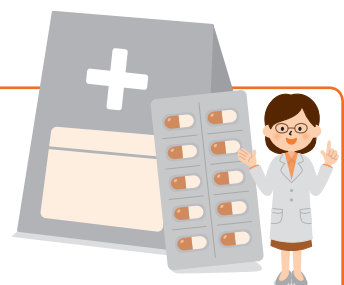
ジェネリック医薬品は、新薬(先発医薬品)と同じ有効成分、同じ効能・効果があり、安全性においても同等の医薬品です。

ジェネリック医薬品は先発医薬品の約2～7割程度の価格となり、皆さんの自己負担額の軽減、また短期(医療)財政の改善につながります。

診察の際に、医師に「ジェネリック医薬品希望カード」を見せ上手に活用してください。

なお、「ジェネリック医薬品希望カード」を忘れた場合でも、ジェネリック医薬品を希望することを申し出いただくことで、利用することができます。

「自分が使用している薬のジェネリック医薬品はどうしたら分かるの?」そんな疑問をお持ちの場合、下記のサイトにアクセスしてください。



日本ジェネリック医薬品学会ホームページ 「かんじゃさんの薬箱」 <http://www.generic.gr.jp>